

平成24年行政事業レビューシート

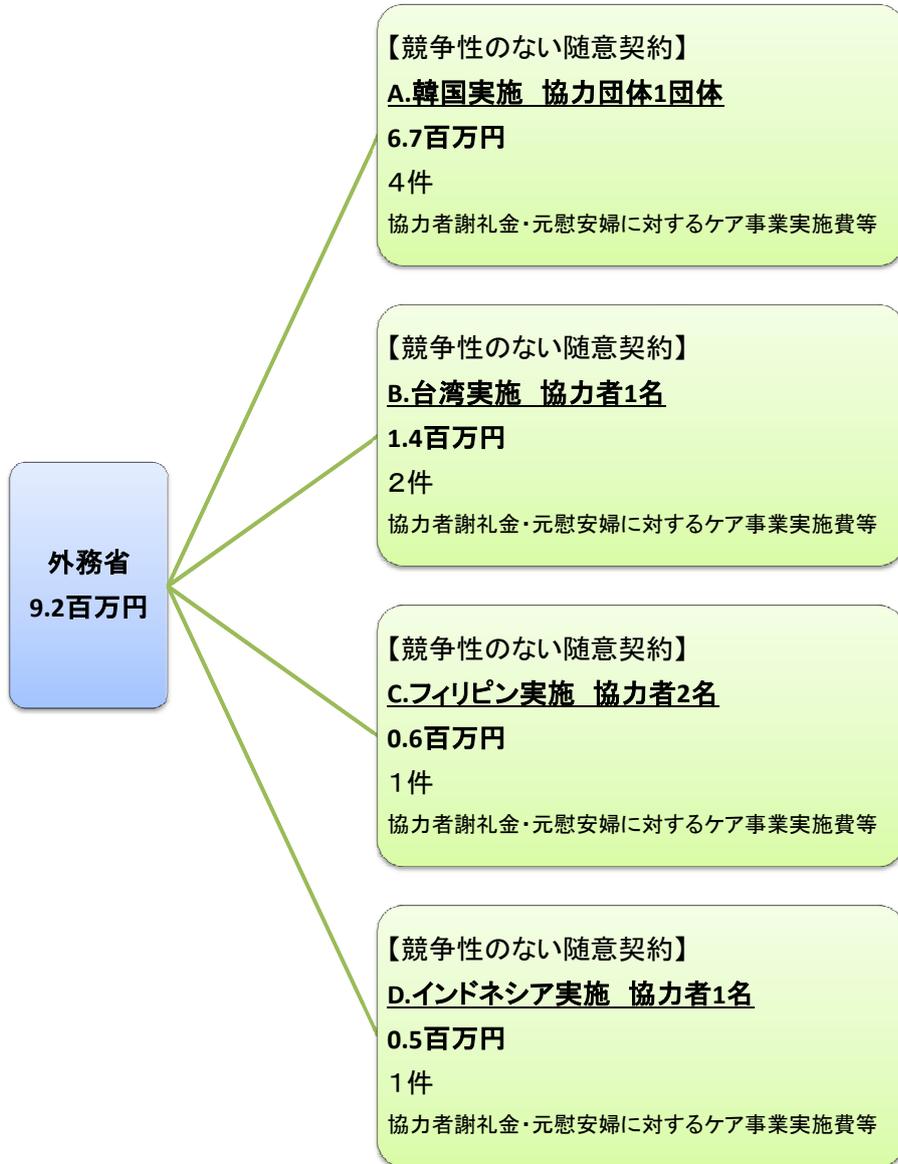
(外務省)

<b>事業名</b>	アジア紛争下での女性尊厳事業		<b>担当部局庁</b>	アジア大洋州局・南部アジア部			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度開始		<b>担当課室</b>	地域政策課			課長 伊従誠	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	I-1 アジア大洋州地域外交				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条、外務省組織令第39条		<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成19年3月末をもって解散した財団法人「女性のためのアジア平和国民基金」(アジア女性基金)の活動を通じて築かれた各国関係者とのネットワークを活用し、外部団体ないし個人に業務を委託し、同基金の行ってきた事業を適切にフォローアップすることを目的としている。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	韓国、台湾、フィリピン各地に在住する元慰安婦を巡回し、医療及び福祉の面で直接的な支援を行っている。元慰安婦は既に高齢であり、その大部分の方が身体が不自由で寝たきりの方も多いため、それぞれを巡回訪問しながら対象者の近況を確認し、情報収集及び各国の元基金関係者とのネットワークを維持している。インドネシアに関しては、元慰安婦の認定が困難であること、また、元慰安婦の方々やその家族の尊厳を守らなくてはならないことから、個人に対する事業ではなく、医療福祉施設への支援・視察及びインドネシア政府関係者との意見交換等を中心に事業を実施している。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	8	13	10	12	16	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計	8	13	10	12			
	執行額	7	9	9				
執行率(%)	88	72	91					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	アジア女性基金に表れた日本国民の本問題に対する真摯な気持ちに理解が得られることを目標に本フォローアップ事業を行っている。所期の目的を達した出張回数を成果指標とする。			回数	7	7	8	8
			達成度	%	-	-	100	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	韓国、台湾、フィリピン、インドネシアへの出張			回数	7	7	8	- (8)
<b>単位当たりコスト</b>	1,156千円/1回(訪問)		算出根拠	8回実施分経費合計9,247,595円				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	旅費	5	6					
	医療費他	7	10					
計	12	16						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、地方自治体や民間等に委ねるべき性質の事業ではない。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業を行うにあたっては、アジア女性基金が行ってきた事業に関わる人脈を深く広く有しているということのみならず、元慰安婦のプライバシーが守られることが必要とされるため、これらの前提を十分理解し、実行する団体等に本件を委託することが適当。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業の執行は、アジア女性基金が行ってきた事業に関わる人脈を深く広く有する団体が行っており、その人脈により必要なケア等を現地で効率よく行うことができる。活動は、対象者等からのヒアリングに基づいて計画され、実行されており、着実に達成している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	●各国の事情により、業務を委託している団体ないし個人が全行程の準備及び実施を請け負う国もあれば、通訳手配や移動等を我が国大使館や総領事館の協力を得て実施している国もある。そのため執行状況やコストには引き続き多少ばらつきがあるが、効率的に予算消化がされるよう各実施団体に働き掛けており、結果として単位あたりのコストは妥当な水準となっている。
	-		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	325	平成23年行政事業レビュー	325

個別事業名： アジア紛争下での女性尊厳事業

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



個別事業名： アジア紛争下での女性尊厳事業

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空運賃, 日当, 宿泊料	4.1			
委託費	協力者謝礼金, ケア医療費	2.5			
計		6.6	計		0.0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空運賃, 日当, 宿泊料	1.0			
委託費	協力者謝礼金, ケア医療費	0.4			
計		1.4	計		0.0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空運賃, 日当, 宿泊料	0.1			
委託費	協力者謝礼金, ケア医療費	0.5			
計		0.6	計		0.0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空運賃, 日当, 宿泊料	0.1			
委託費	協力者謝礼金, ケア医療費	0.5			
計		0.6	計		0.0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

個別事業名: アジア紛争下での女性尊厳事業

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協力団体A	韓国におけるいわゆる元従軍慰安婦の方への巡回訪問, 医療福祉支	6.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協力団体B	台湾におけるいわゆる元従軍慰安婦の方への巡回訪問, 医療福祉支	1.4		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協力団体C	フィリピンにおけるいわゆる元従軍慰安婦の方への巡回訪問, 医療福	0.6		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協力団体D	インドネシアにおけるいわゆる元従軍慰安婦の方への巡回訪問, 医療	0.5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					